■想定した地震規模

2003年に発生した、宮城県北部で発生した地震のようなM6クラスの地震では、ほとんどの場合、地表で活断層が認められていません。そういった活断層が認められない箇所での地震は、M6.9の地震が最大規模とされています。

阿蘇市においては、活断層が地表で認められておらず、市内を震源とした場合、起こりうる地震の最大規模は M6.9であると言えます。よって今回の検討では、防災上の観点から、活断層が地表で認められない箇所で発生する最大地震規模であるM6.9 の地震を想定して揺れやすさマップを作成しました。

熊本県指定緊急輸送道路

緊急輸送道路とは、大規模な地震が発生した場合に、避難・救助をはじめ、物資の供給、諸施設の復旧等広範な応急対策活動を広域的に実施するため、非常事態に対応した交通の確保を図ることを目的に設定された道路です。

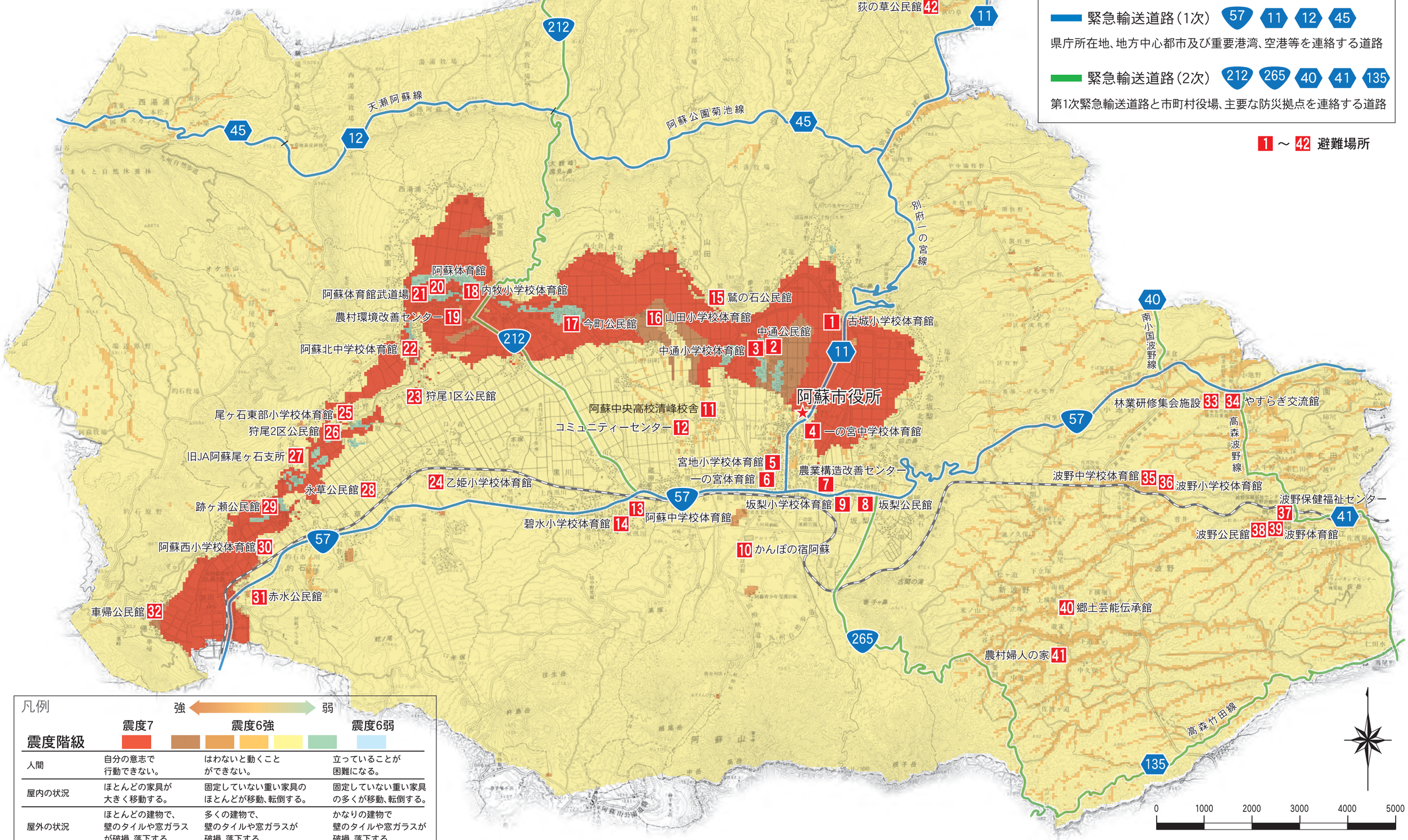
緊急輸送道路（1次） 57 11 12 45

県庁所在地、地方中心都市及び重要港湾、空港等を連絡する道路

緊急輸送道路（2次） 212 265 40 41 135

第1次緊急輸送道路と市町村役場、主要な防災拠点を連絡する道路

1 ～ 42 避難場所



凡例

震度階級	震度7（強）	震度6強	震度6弱（弱）
人間	自分の意志で行動できない。	はわないと動くことができない。	立っていることが困難になる。
屋内の状況	ほとんどの家具が大きく移動する。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。
屋外の状況	ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。	かなりの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。

この地図は阿蘇市管内図（1:50,000）をもとに作成されています。